

一般質問

和牛生産日本一をめざす政策を



後迫哲矢議員

本町の、平成十三年度和牛粗生産額は、二十四億三千万円余で、県内第四位の実績をあげている。この実績を更にあげ日本一の和牛生産の町にするため、生産農家や関係機関と一帯となった新たな振興方策づくりに取り組むべきと考えるが、町長は、その政策づくりに取り組む考えはあるか。

基本政策構想策定に努める

町長 大崎町は、豊かな自然

の中で、多彩な営農が展開される南の食糧供給基地であり、国民に食料を安定的に供給する役割を担っている。特に肉用牛は、地域の経済や社会を支える基幹産業として重要な位置付けにあり、今後、和牛生産維持拡大対策に取り組み、大型化、

協業化した農家育成を考慮した政策づくりをすすめ、日本一の産地づくりを目指す構想策定に努める。

生産体制の見直しと今後の整備計画は

後迫議員

現生産体制は、庭先飼いの少頭数の経営が多く、兼業型では、いたし方ないが、法人化や企業化した経営農家を育成するた

めには、環境問題等も含め増頭対策と施設両面の施策を考慮すべきと思うが、その取り組みの考えは。

専業・兼業生産農家育成に取り組む

町長

専業農家育成については、大規模繁殖経営を確立するため、新規就農実証モデル農家の育成や増頭対策による経営規模拡大事業等を取り入れ、専業農家育成を図る。

兼業農家育成については、新規就農者の意識改革が必要な面と、すでに牛舎等のある方については、新たな担い手方策を検討しながら今後進める。

和牛改良組合等の組織再編と活動支援は

後迫議員

和牛生産組合等の組織が弱体化し、活動のできなくなっているところもある。新たな組織の再編と支援をはかる考えはないか。



郡畜産共進会

支部単位の組織や活動支援を検討

町長

支部組織や活動ができれば、ような支援策を考えて農協等とよく検討する。

一億円投じて生産牛増頭並びに更新の考えは

後迫議員

本町の和牛生産振興を図るには、思いきった増頭対策と更新対策が必要と考えるが、一億円投じて日本一を目指す考えはないか。

先に投資した結果を見極めながら

町長

生産牛増頭対策は、農業振興資金や特別導入事業の取り組みをしているので、先に投資した結果を見極めながら検討する。

畜産振興協議会に対する町長の所見は

後迫議員

現在、畜産振興協議会の事務局は農協にある。町の畜産振興を図るため

町にあるべきと考えるが町長の考えは。

要請があれば

町長

畜産振興協議会は、町や農協他各機関、部会組織で構成しているため、平成十五年の時点で要請があれば引き受ける。

畜産全般の名声を高める施策の取り組みは

後迫議員

本町の畜産全般の生産実績は全国最上位である。もっと大崎の町の顔として見えるピーアールのための施策は考えないか。

検討する

町長

畜産の町として、名声を高める方策は様々あると考えるので今後検討する。